

若手の7割が「裁量を実感」 「裁量があっても情報が足りない」ことが課題 -裁量と働き方意識調査2025-

株式会社オロ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長執行役員：川田 篤、以下「オロ」）は、20～39歳の若手社員481名を対象に、「裁量と働き方意識調査2025」を実施しました。その結果、若手の約7割（68.6%）が「職場で裁量を実感している」と回答し、さらに裁量を与えられている層ほど、「もっと裁量を持って働きたい」という意欲が強い（86.7%）ことが明らかになりました。一方で、裁量を発揮する際の課題としては、「責任が重くなる不安」「スキル不足」「情報共有の不足」が上位に。特に「情報共有の不足」は、裁量を与えられている層でのみ顕著に見られ、“任せるだけでは若手は育たない。判断に必要な情報の整備が不可欠”という組織課題が浮き彫りとなりました。



<https://zac.go.oro.com/news/news-2185.html>

■調査結果サマリー

1. 若手社員の7割が“裁量を実感”。裁量を持つ働き方がスタンダードに

- ・裁量を与えられていると「感じている」：計68.6%
- ・裁量を与えられていると「感じていない」：計31.4%

若手世代でも、上司の指示待ちではなく、「任されて働く」働き方が定着しつつあることが示唆されます。

2. 裁量を与えられている層ほど、さらに裁量を求める傾向が顕著（86.7%）

裁量“あり”と回答した330人のうち、

- ・「もっと裁量を持ちたい」：計286人（86.7%）

すでに任されている若手世代ほど、より大きな裁量を求める傾向が強くなりました。

3. 裁量“あり”層の不安は「責任」「スキル」「情報共有」が三大要因

裁量を与えられている層（330人）の不安上位は以下のとおり。

- ・責任が重なることに不安：27.9%
- ・スキル・知識・経験の不足：26.4%
- ・情報共有の不足：21.8%

裁量“なし”の層では「情報共有の不足（6.6%）」は上位に入らず、裁量を与えられた際にはじめて、判断のための“情報の不足”が顕在化することがわかりました。

【クラウドERP「ZAC」に関するお問い合わせ先】

株式会社オロ マーケティンググループ TEL：03-6692-9558 / Mail：zac@jp.oro.com

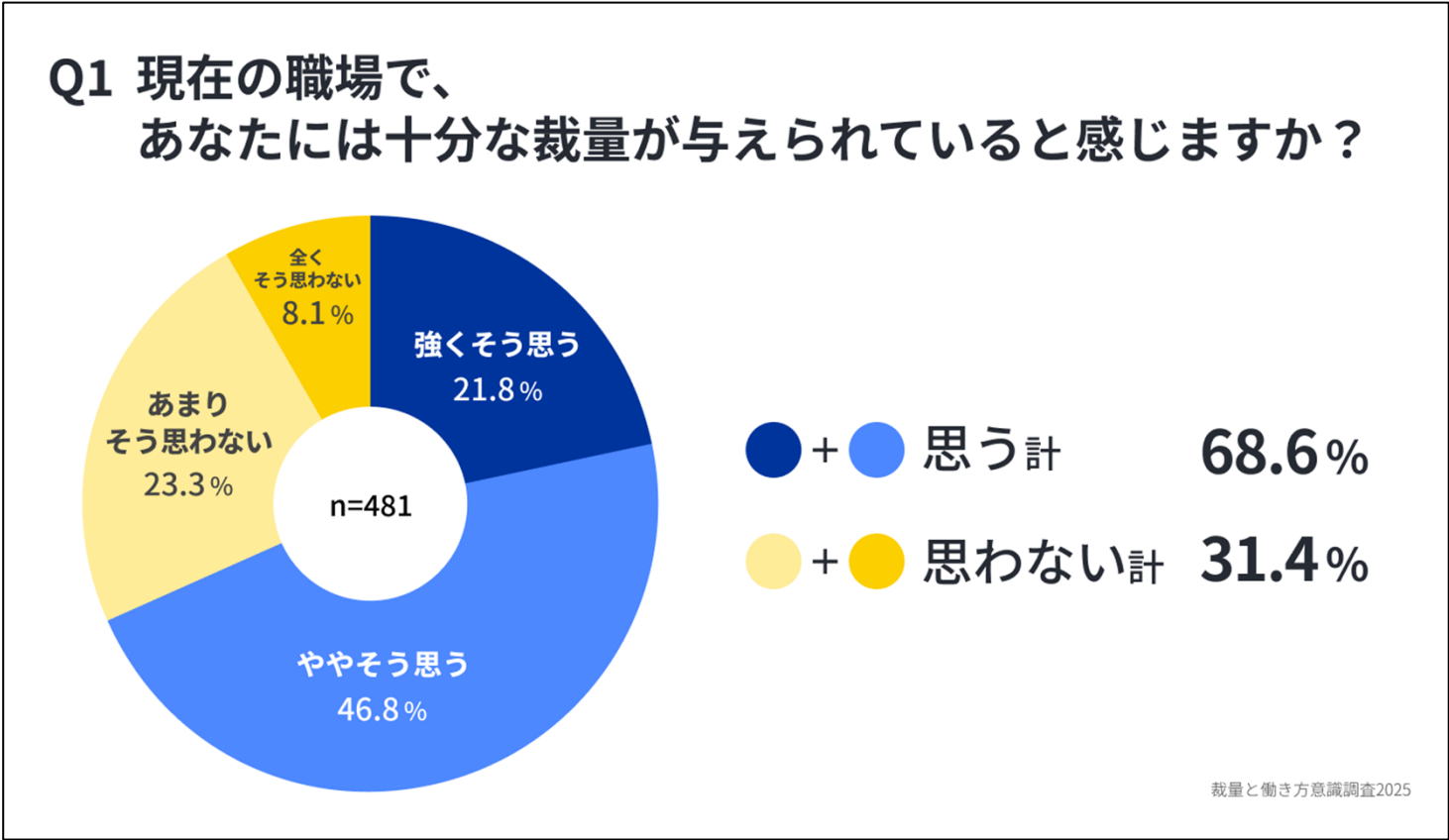
【報道に関するお問い合わせ先】

株式会社オロ 広報担当 TEL：050-5783-5386（直通） / Mail：info@jp.oro.com

Q1 現在の職場で、あなたには十分な裁量を与えられていると感じますか？

- ・強くそう思う：21.8%
- ・ややそう思う：46.8%
- ・あまりそう思わない：23.3%
- ・全くそう思わない：8.1%

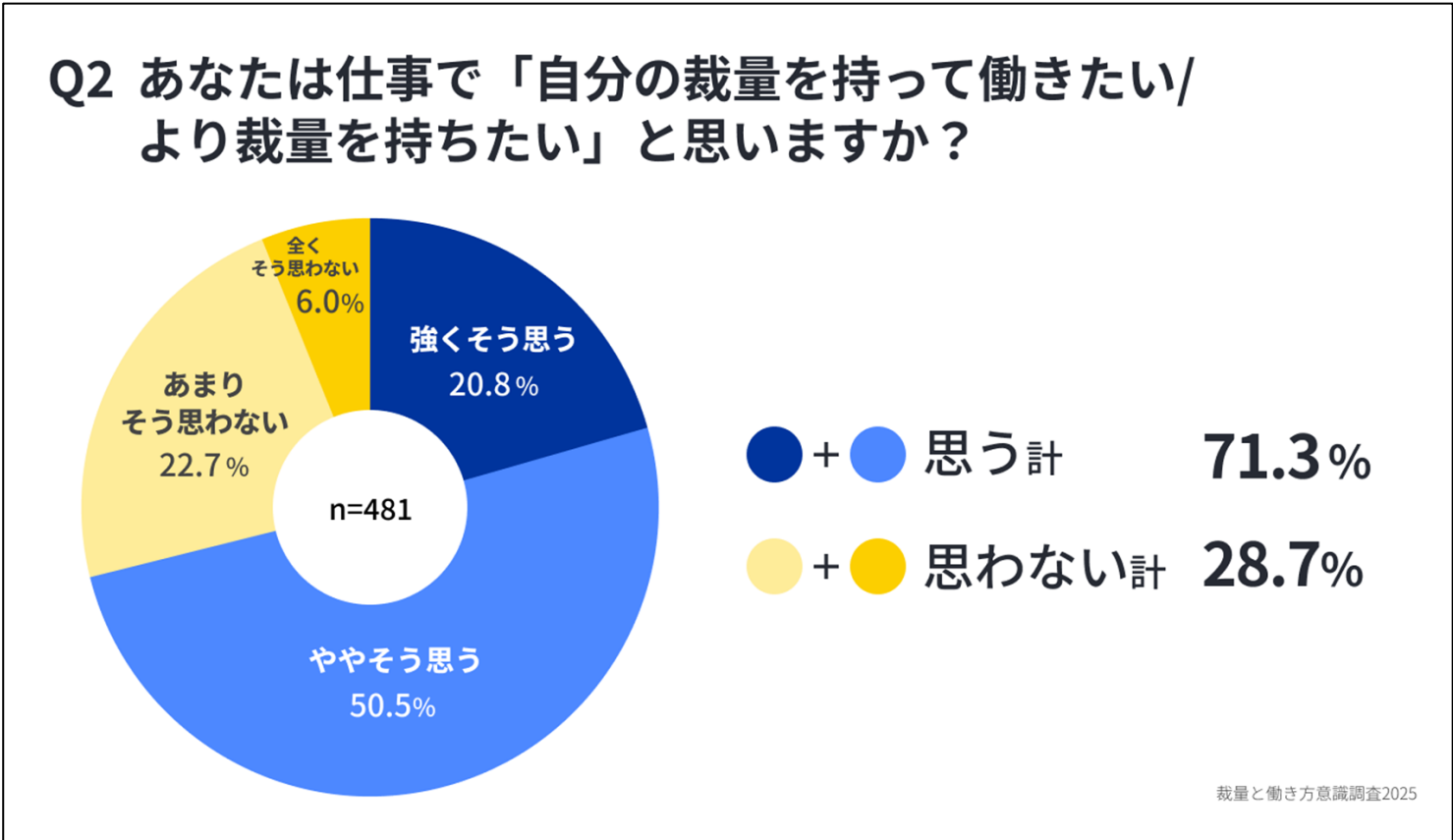
→「思う」計 68.6%／「思わない」計 31.4%



Q2 あなたは仕事で「自分の裁量を持って働きたい/より裁量を持ちたい」と思いますか？

- ・強くそう思う：20.8%
- ・ややそう思う：50.5%
- ・あまりそう思わない：22.7%
- ・全くそう思わない：6.0%

→「思う」計 71.3%



■裁量を与えられていると「感じている」層（強くそう思う、ややそう思う計330人）は、「より裁量を持ちたい」と思っているのか？

- ・より裁量を持ちたいと思う：計286人（86.7%）
- ・裁量を持ちたいと思わない：計44人（13.3%）

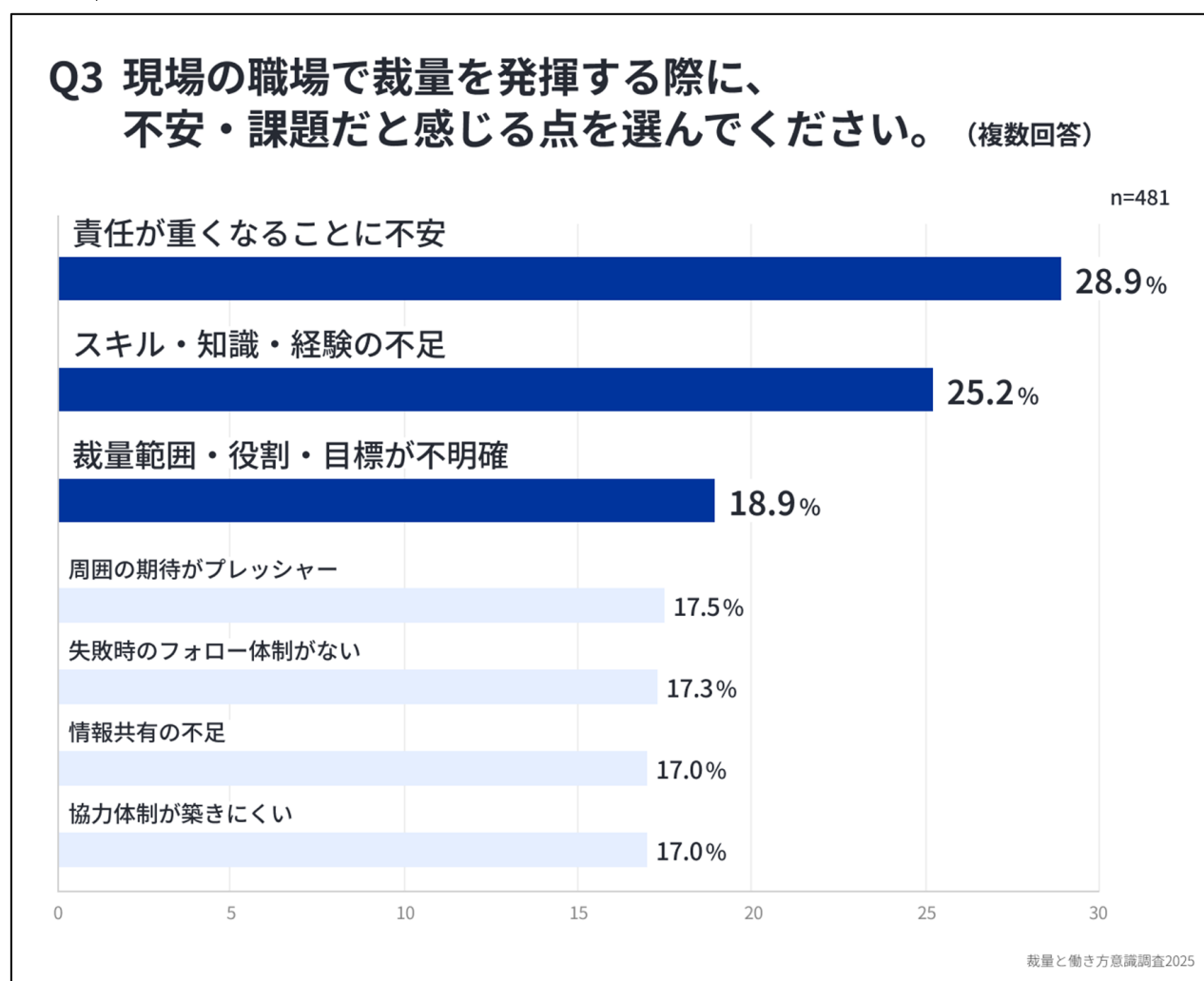
→すでに任されている若手ほど、より大きな裁量を求める傾向。

			Q2 あなたは仕事で「自分の裁量を持って働きたい/より裁量を持ちたい」と思いますか？			
			強く思う	やや思う	あまり思わない	全く思わない
総数		n	100	243	109	29
Q1 現在の職場で、あなたには十分な裁量を与えられていると感じますか？	強く思う	105	61	39	4	1
	やや思う	225	22	164	35	4
	あまり思わない	112	10	33	58	11
	全く思わない	39	7	7	12	13

裁量と働き方意識調査2025

Q3 現場の職場で裁量を発揮する際に、不安・課題だと感じる点を選んでください。（複数回答）

- ・責任が重くなることに不安：28.9%
- ・スキル・知識・経験の不足：25.2%
- ・裁量範囲・役割・目標が不明確：18.9%
- ・周囲の期待がプレッシャー：17.5%
- ・失敗時のフォロー体制がない：17.3%
- ・情報共有の不足：17.0%
- ・協力体制が築きにくい：17.0%



■裁量“あり”と“なし”で異なる不安

裁量を与えられている層（330人）
（上位3つ）

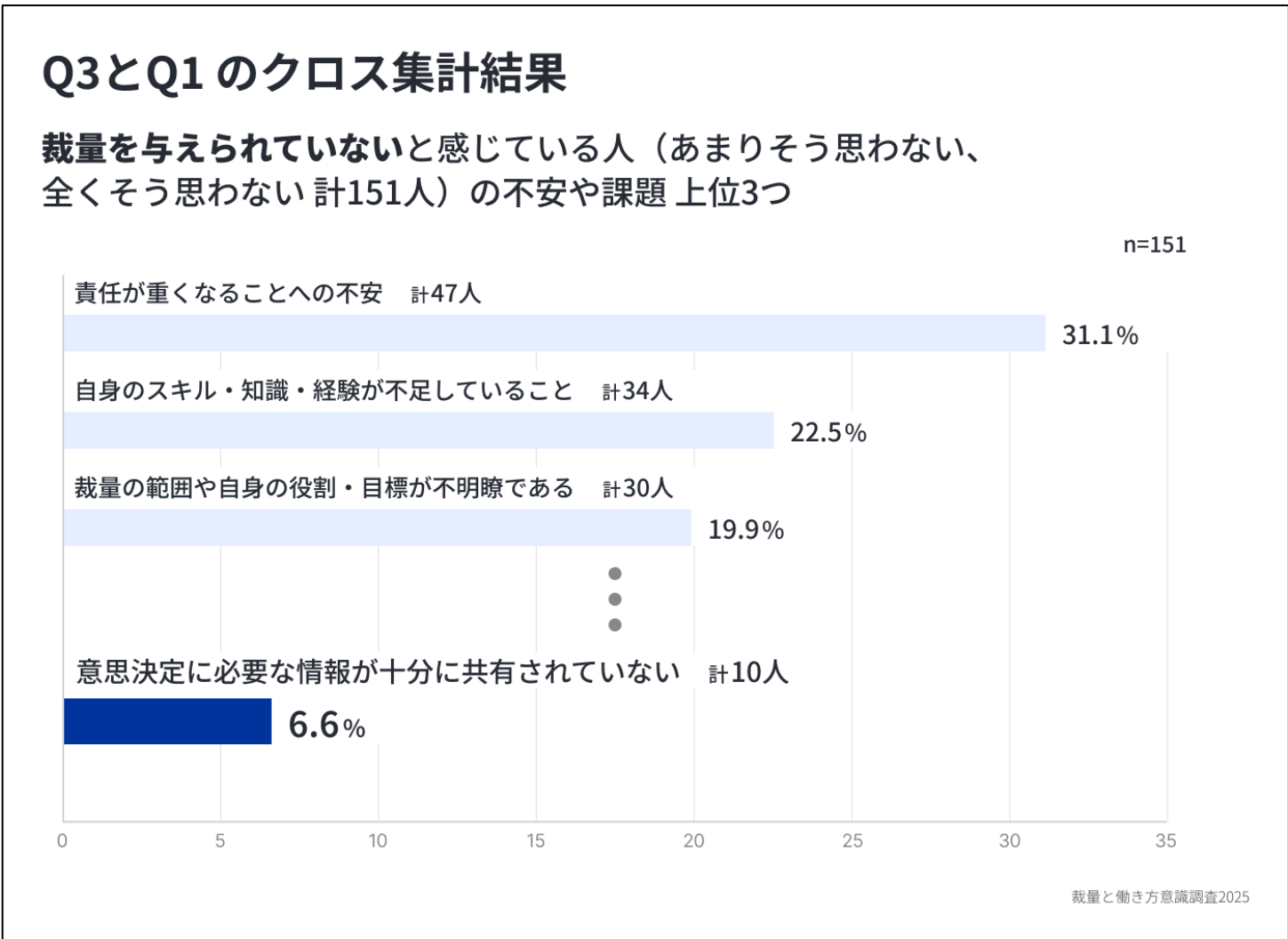
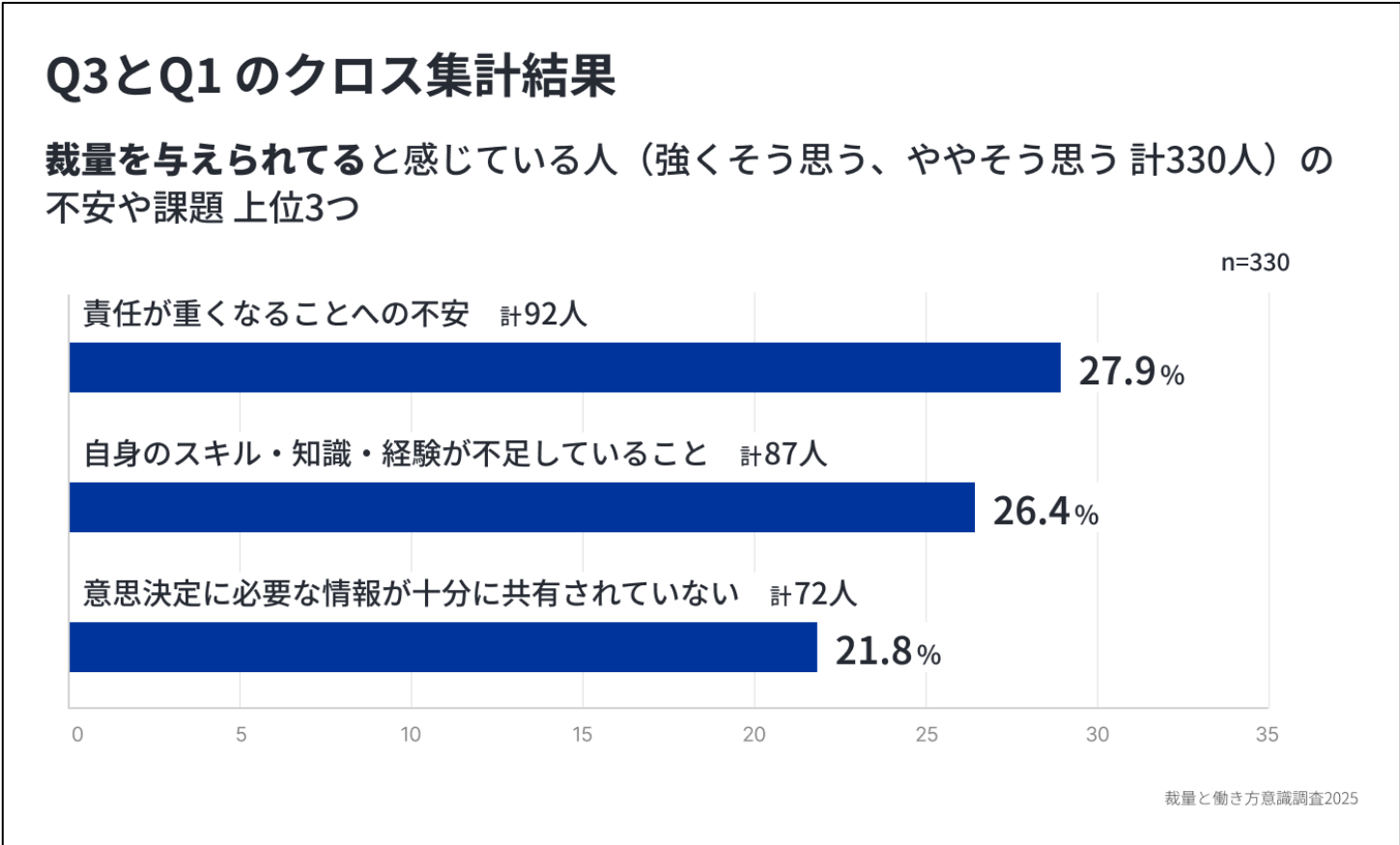
- ・責任が重くなることに不安：27.9%
- ・スキル・知識・経験の不足：26.4%
- ・情報共有の不足：21.8%

裁量を与えられていない層（151人）
（上位3つ）

- ・責任が重くなることに不安：31.1%
- ・スキル・知識・経験の不足：22.5%
- ・裁量範囲・役割・目標が不明確：19.9%

※「情報共有の不足」は6.6%のみ。

→ 「情報共有の不足」は、裁量を与えられた際に初めて顕在化する課題であることが判明。



■【株式会社オロ クラウドソリューション事業部 マーケティンググループ長 吉井 惇による総括コメント】



今回の調査により、若手社員の多くが「裁量を持って働きたい」という意欲を有している一方、その実現を阻む要因として「責任への不安」「スキル不足」「判断に必要な情報の不足」が明らかになりました。中でも「情報共有不足」は、既に裁量を持って業務に当たる層でより顕著にみられ、必要な情報が十分に得られない状況では、個々が持つ裁量を十分に発揮しにくくなる可能性が示されました。

オロはERPの提供を通じて、プロジェクト情報や部門別業績など、経営に関わる各種データの可視化と共有基盤の整備を支援しています。今回の調査結果が示唆するように、若手社員の自律的な働き方を促進するためには、単に裁量を付与するだけでなく、意思決定に必要な情報が適切に共有される環境の構築が不可欠です。オロはその仕組みづくりを支援することで、企業の組織力向上に貢献します。

さらに、裁量型の働き方を推進する取り組みとして「独立採算制（部門別採算）」を導入する企業も増加しています。オロが提供するERP「ZAC」には、部門間取引を管理する内部販売機能をはじめ、部門別採算をタイムリーに可視化する機能が備わっており、企業の高度な経営管理の実現を強力に支援します。

■クラウドERP「ZAC」について

<https://www.oro.com/zac/>

●事業の成長と社員の幸せは両立できる
ーなぜ『ナレッジワーカー・マネジメント』は顧客の共感を集めるのかー
<https://www.oro.com/zac/blog/zacblog-column-knowledge-worker-management/>

●独立採算制とは。事例を用いてわかりやすく解説
<https://www.oro.com/zac/blog/autonomous-accounting/>

●経営指標の具体例。タイムリーな経営判断に必要なこと
<https://www.oro.com/zac/blog/management-indicators/>

■調査概要

調査名称：裁量と働き方意識調査2025

対象：全国の若手社員481名（20～39歳／男性241名・女性240名）

調査方法：インターネットによるアンケート調査

調査期間：2025年10月30日～11月2日※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合があります。※本調査をご利用の際は、以下のクレジットを記載ください。

「クラウドERP「ZAC」を提供する株式会社オロが実施した調査によると…」

【クラウドERP「ZAC」に関するお問い合わせ先】
株式会社オロ マーケティンググループ TEL：03-6692-9558 / Mail：zac@jp.oro.com
【報道に関するお問い合わせ先】
株式会社オロ 広報担当 TEL：050-5783-5386（直通） / Mail：info@jp.oro.com